

## 令和4年度 課長方針 検証

部課	消防本部 総務課	課長	鈴木 経一
----	----------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・課内一致協力し、次に繋がる仕事を行う。</li> <li>・ソフトハード両面において、新型コロナウイルス感染症対策をすすめる。</li> <li>・各種行事の滞りない準備、関係各課との円滑な連携、コロナを踏まえた柔軟な対応。</li> </ul>

### 達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
消防団員の入団促進	地域防災力の中核となる消防団員の入団促進を図る。	各種イベント等機会を捉えて、広報及び勧誘活動を行い、入団促進を図る。	◎	男性8名、女性1名の計9名が新規に入団した。
新型コロナウイルス感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアテントの購入</li> <li>・リユースタイプの感染防止衣の整備</li> <li>・トイレ等の自動洗浄機器の整備</li> <li>・便座クリーナーの設置</li> <li>・スタンド型非接触検温器の整備</li> </ul>	更なる感染拡大期を見据え、酸素ステーションも含め、感染防止対策に必要な資機材の整備を行う。	◎	全ての事業を完結した。
消防通信指令システムの部分更新	消防通信指令システムの部分更新及び水害対策	老朽した消防通信指令システムの一部を更新するとともに、3階への移設を行う。	△	物流の停滞や社会情勢における諸事情も含め、年度内の事業完結には至らなかった。 令和5年度は、繰越明許事業として、令和5年10月事業完了を目途に、引き続き事業を実施する。
老朽消火栓の補強修理	漏水防止のため、補強修理を行う。	20年を経過した消火栓のうち、補強を要する50カ所の修理を行う。	◎	全ての事業を完結した。

## 令和4年度 課長方針 検証

部課	消防本部 予防課	課長	太田 栄
----	----------	----	------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防法令を遵守した業務遂行を図るため、業務知識習得への積極的な姿勢を維持すること。</li> <li>・課内の協力協調を重視し、小人数でも効果的な業務遂行を基本とすること。</li> <li>・日頃より、主語、述語を欠いたコミュニケーションエラーを防止すること。</li> </ul>

### 達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
火災予防広報	火災予防運動や各種イベントにおける市民への火災予防啓発活動	コロナ禍に応じ、全国火災予防運動や各種イベント等において市民に向けた火災予防PRを実施し、防火防災意識の啓発を図る。	○	火災予防運動期間中に、ビバホーム蕨錦町店や蕨店にて火災予防運動の広報活動を行う。町会の協力により火災予防ポスターや火災予防啓発資料を配布し市民に火災予防啓発活動を実施した。
住宅用火災警報器設置促進	未設置世帯への設置促進、設置世帯への維持管理の促進	住宅用火災警報器設置の義務化から11年が経過するため、設置済世帯に対して交換の必要性を周知していくとともに、継続的に未設置世帯の設置率向上を図る。	○	各イベントにおいて住宅火災警報器の普及促進をPRし、独居世帯への普及率を向上させる目的で、地域ケアマネージャーに業務依頼し、介護士の訪問する世帯への住警器普及のためのチラシ配布を依頼する等、普及率向上を図った。
立入検査	特定防火対象物への立入検査	災害時に防御が困難な対象物、管理形態が複雑な対象物、違反是正の緊急度が高い対象物等への立入検査を優先的に実施し、効果的な予防行政の促進を図る。	△	複合用途防火対象物や、各種届出により抽出した違反状態の防火対象物への立入検査や追跡指導による違反是正を推進した。

## 令和4年度 課長方針 検証

部課	消防署	署長	小林 順
----	-----	----	------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を継続し、消防目的実現のための体制を維持する。</li> <li>・部隊能力を向上させ、多種多様な災害に対応する。</li> <li>・効果的な立入検査を実施し、火災予防の強化を図る。</li> </ul>

### 達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
感染症対策と消防体制維持	感染症対策を徹底し、消防体制を維持する	消防力の低下を回避するために、新型コロナウイルスに対する感染症対策を徹底し、業務を遂行する。	○	コロナウイルスの感染蔓延により、職員の感染に伴う自宅待機者が発生したが、業務継続計画を発動し消防体制を維持した。
特殊災害対応	特殊災害に対する対応強化	危険物等の漏えい、流出、飛散による災害に対応するために、特殊装備を活用した訓練を行い、対応力の向上を図る。	◎	特殊災害に対する座学を実施し、現場対応に関する知識を養った。また化学防護服を活用し、特殊災害対応訓練を実施し、部隊能力の向上が図れた。
大規模災害対策	震災や水害等、大規模災害に対する対応強化	震災、水害等の大規模災害発生時に市内の被害を軽減することを目的に、活動基準にのっとった効果的な訓練を行う。	○	緊急消防援助隊出動計画要領に則った出動準備訓練を実施した。このことにより被災地への部隊派遣時においても、消防力を低下させることなく、市内の災害対応が図れるよう対策を講じた。水害に関しては訓練実施に至らなかったが、マニュアルを見直し事業継続が図れた。
災害事前対策	警防計画の作成	特殊な構造又は大規模な対象物に対し、警防計画を作成する。	◎	災害事前対策として、既存の防火対象物に対し、警防計画を見直し作成した。
立入検査	定期的な立入検査の実施	署にて防火対象物50件の立入検査を実施する。	△	新型コロナウイルスの感染まん延により、外部者との接触を10月まで自粛したことから、検査実施件数は目標まで至らなかったが、違反是正を履行するなど検査を実施した対象物においては十分な成果が得られた。